

1 R5年第1回定例会都市整備委員会 所管事務報告の内容

- ・気候変動の影響を踏まえ、「雨水管理総合計画策定ガイドライン(案)」を基にハード整備の対象降雨を見直し。
- ・浸水被害が大きい3地区を新たに重点地区として選定し、重点9地区の浸水対策を実施。

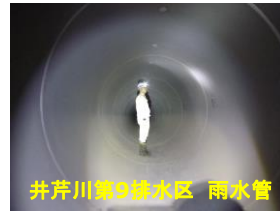
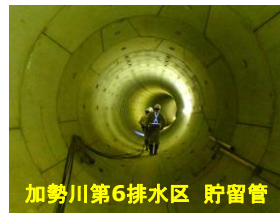
計画名	熊本市下水道浸水対策計画	(仮称) 熊本市下水道浸水対策計画2023
整備水準	5年確率 60mm/h	5年確率 66mm/h ※気候変動の影響を踏まえて見直し
対策地区の選定基準	浸水実績	浸水リスク、都市機能集積度
対策内容	ハード整備	ハード整備+ソフト対策
対策地区	重点6地区	重点6地区+ 浸水被害が大きい3地区

2 新たな重点地区(3地区)の選定

- 新たに対策を実施する地区
- 現在の対策地区(重点6地区)



供用開始済の施設



3 新たな重点地区(3地区)の対策内容

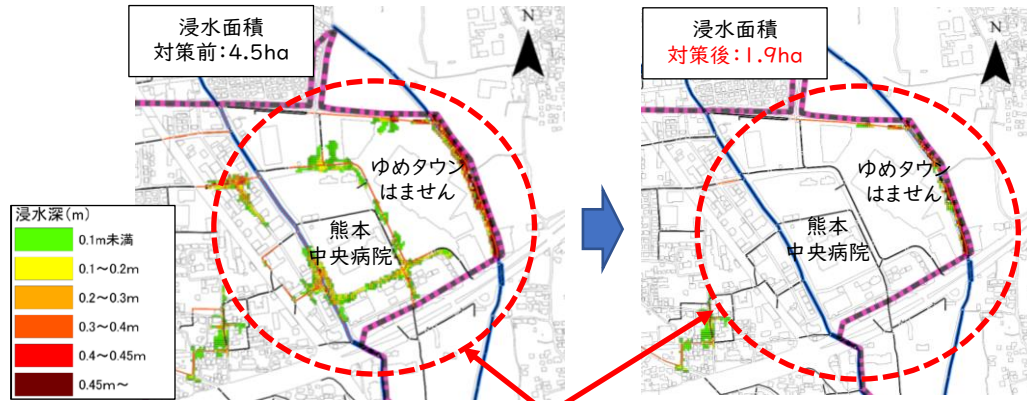
木部川第6排水区
木部川第9排水区

- ・広域で浸水被害が常襲、避難行動に支障
- ・道路下に貯留管を整備、浸水被害を軽減

合流区域
(城東地区)

- ・浸水深が浅く、浸水範囲は局所的
- ・合流管水位情報の公開等、ソフト対策を推進

【木部川第6排水区の浸水シミュレーション：対象降雨66mm/h】



道路下に貯留管を整備することで、熊本中央病院周辺の浸水を軽減
貯留管の概要(想定)：管径4.5m、延長1.7km

4 今後のスケジュール

- ・今後、パブリックコメントや議会報告を経て令和5年度に本計画を策定。令和6年度から8年間で浸水対策を実施。概算事業費は214億円。

年度	R5				R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	R5/12月	R6/1月	R6/2月	R6/3月								
熊本市下水道浸水対策計画2023	○ 議会報告											
									新たな重点地区3地区			
									重点6地区			

R9中間点検